

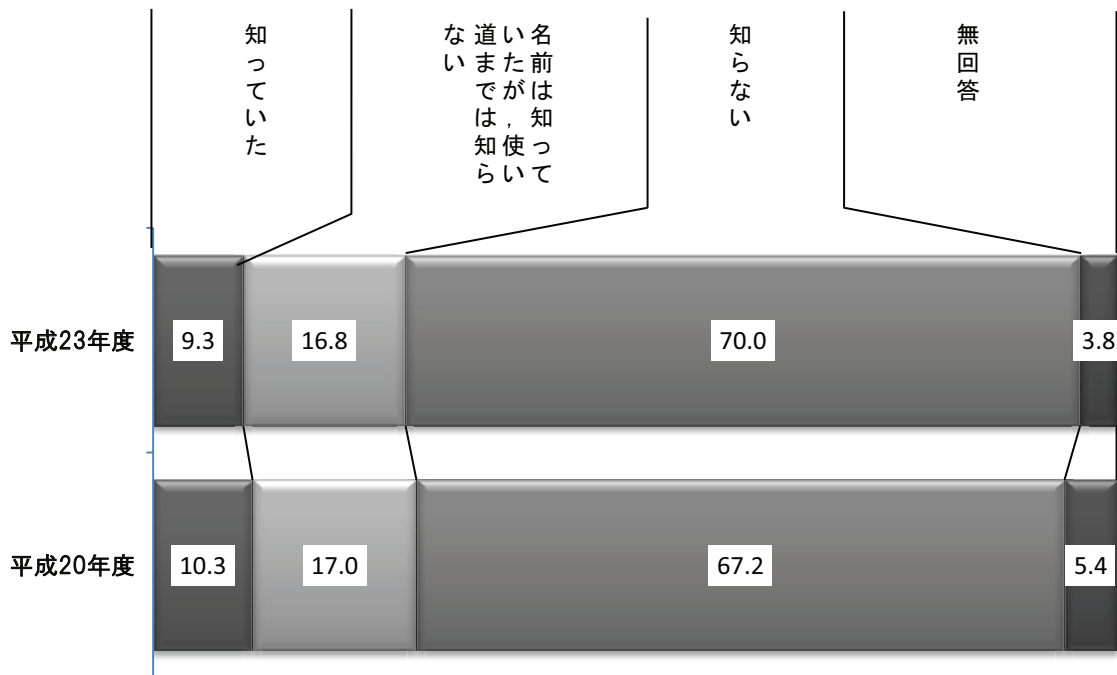
# 15. ひろしまの森づくりの推進

## (1) 「ひろしまの森づくり県民税」の認知度

問 41 県では「ひろしまの森づくり県民税」を使って森林の再生に取り組んでいます。この「ひろしまの森づくり県民税」についてご存知ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

7割が「知らない」

「知らない」が70.0%を占めている一方、「知っていた」は全体の9.3%のみである。



### <属性による比較>

#### 【生活圏別】

「知っていた」の項目について、備後生活圏は6.9%と、10.0%を下回っている。

「名前は知っていたが、使い道までは知らない」の項目について、備北生活圏は20.8%と、20.0%を超えている。

#### 【性別】

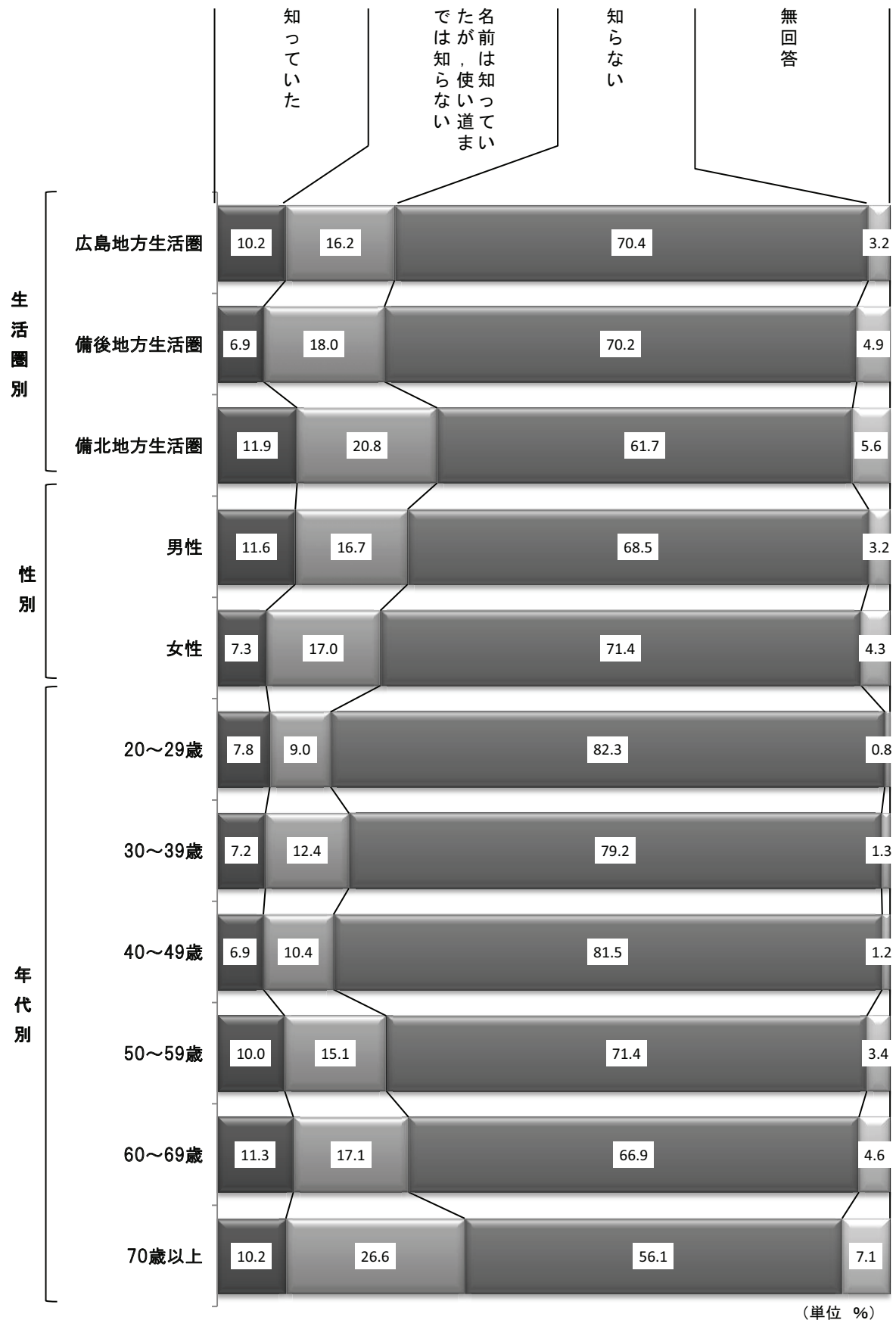
「知っていた」「名前は知っていたが、使い道までは知らない」を含めた場合、男性が28.3%と、女性の24.3%に対して、4.0ポイント高い。

#### 【年代別】

「知っていた」「名前は知っていたが、使い道までは知らない」を含めた場合、基本的に年代が高いほど回答の割合は上がっている。特に「名前は知っていたが、使い道はまでは知らない」において、70歳以上の割合は26.6%であり、他の年代に対して突出している。

一方で、「知らない」については、逆に年代が高いほど回答の割合は減少している。

「ひろしまの森づくり県民税」の認知度(生活圏, 性, 年代別)

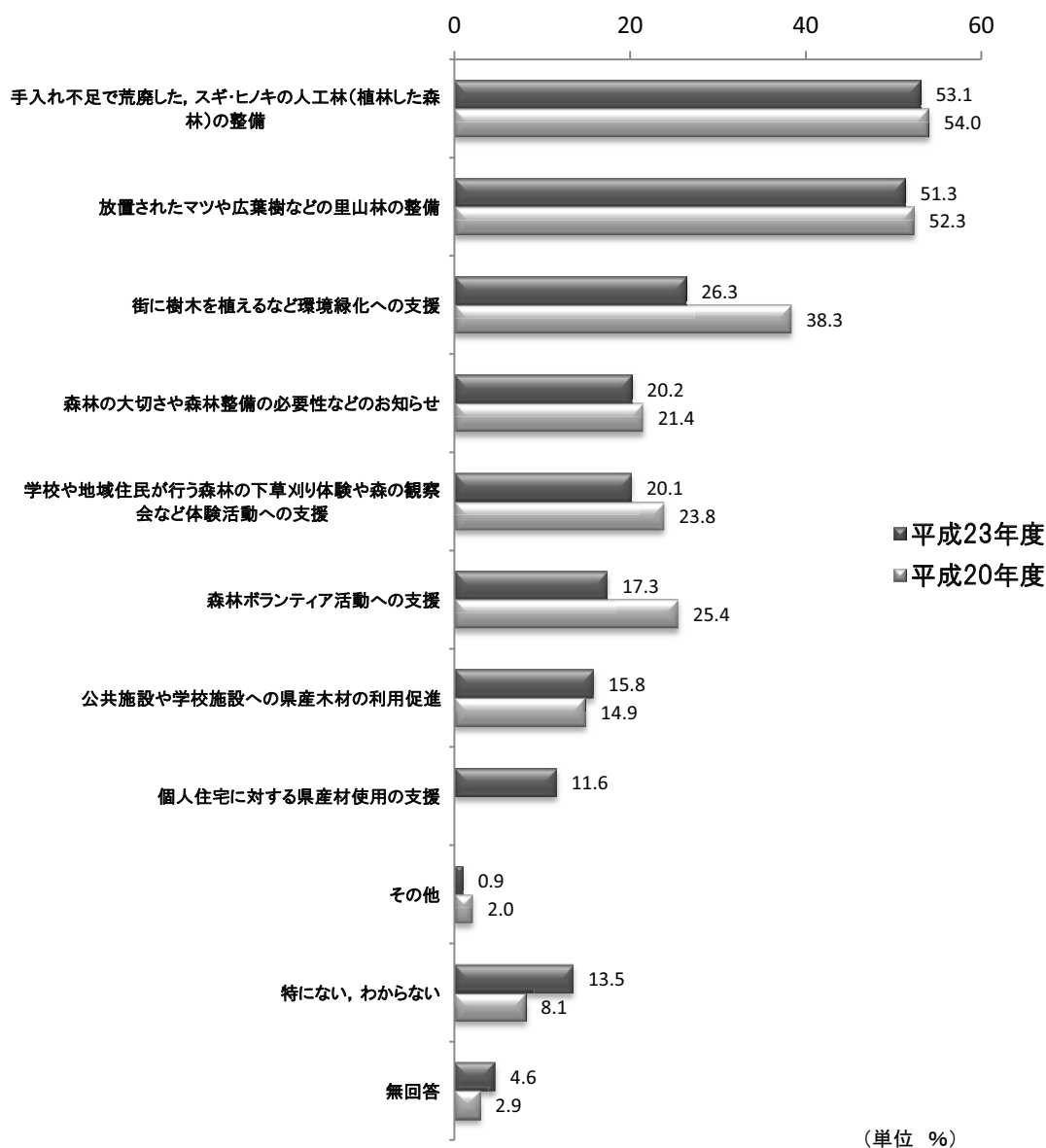


## (2) 「ひろしまの森づくり県民税」を使った取組

問 42 「ひろしまの森づくり県民税」を使って、次のようなことに取り組んでいます。あなたが特に力を入れるべき」と思うのは難ですか。主なものを3つ以内で選んでください。(M. A. )

### 人工林・里山林の整備を望む意見が依然として高い

他の回答項目に対して、「手入れ不足で荒廃した、スギ・ヒノキの人工林（植林した森林）の整備」「放置されたマツや広葉樹などの里山林の整備」の2項目が50.0%を超えており、他の項目に対して突出している。



## ＜属性による比較＞

### 【生活圏別】

「公共施設や学校施設への県産木材の利用促進」・「個人住宅に対する県産材使用の支援」は、備北生活圏の割合が他の生活圏に比べて高い。逆に「街に樹木を植えるなど環境緑化への支援」については、他の生活圏に対して、低くなっている。

広島生活圏については、「学校や地域住民が行う森林の下草刈り体験や森の観察会など体験活動への支援」の割合が21.7%と他の生活圏に対して高い。

### 【性別】

「手入れ不足で荒廃した、スギ・ヒノキの人工林（植林した森林）の整備」「放置されたマツや広葉樹などの里山林の整備」の2項目が男性においては、50.0%を超えているが、女性においては、50.0%を下回っている。「わからない」については、女性が15.2%と男性に対して、3.7ポイント高い。

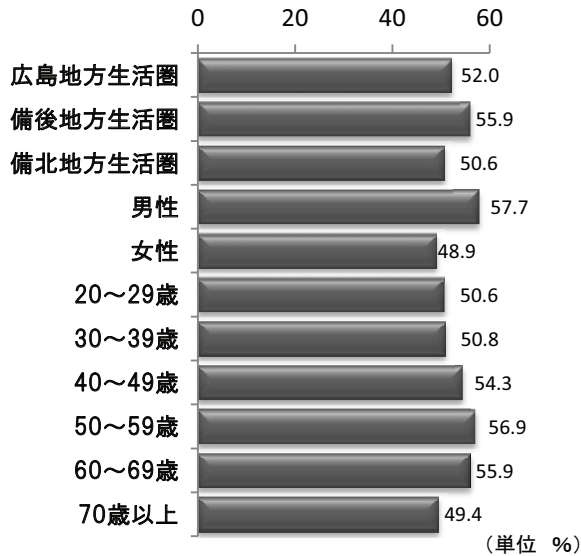
### 【年代別】

60歳代・70歳以上のみ、他の年代に対して、「放置されたマツや広葉樹などの里山林の整備」が全項目の中でトップになっている。他の年代においては、2番目である。

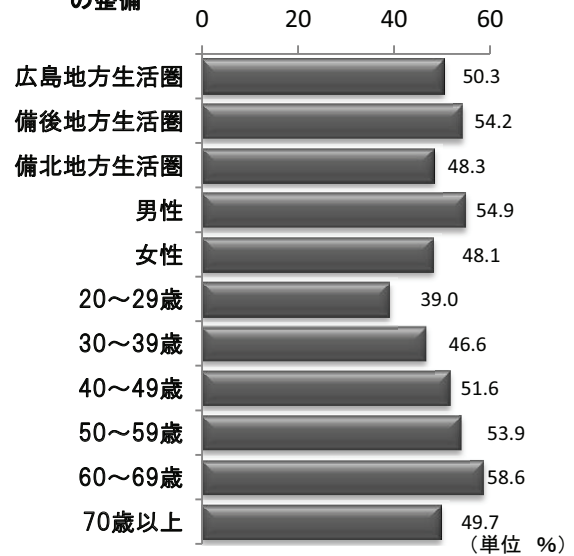
「公共施設や学校施設への県産木材の利用促進」は20歳代の回答率が最も高い。

# 「ひろしまの森づくり県民税」を使った取組(生活圏, 性, 年代別)

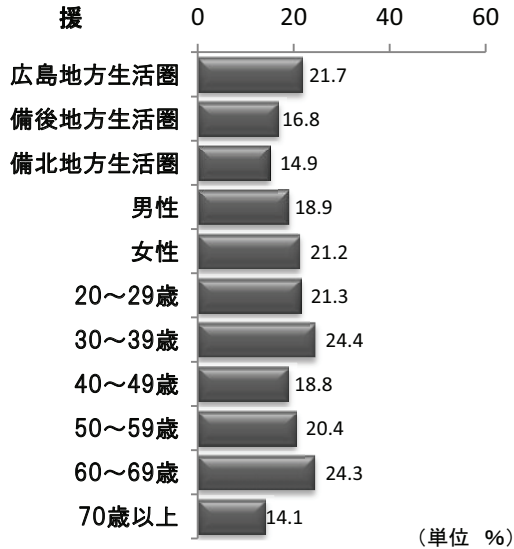
手入れ不足で荒廃した、スギ・ヒノキの人工林(植林した森林)の整備



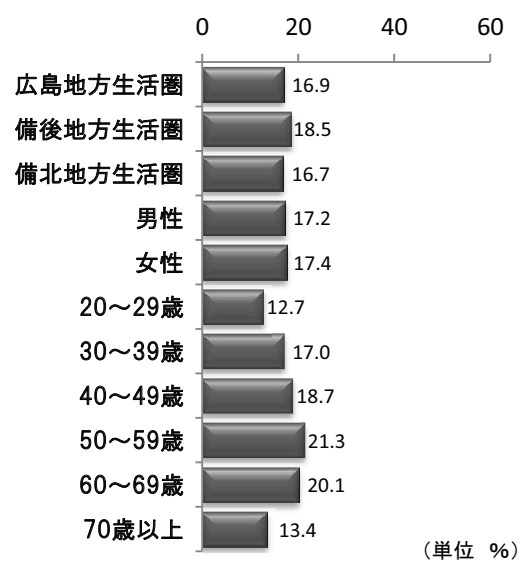
放置されたマツや広葉樹などの里山林の整備



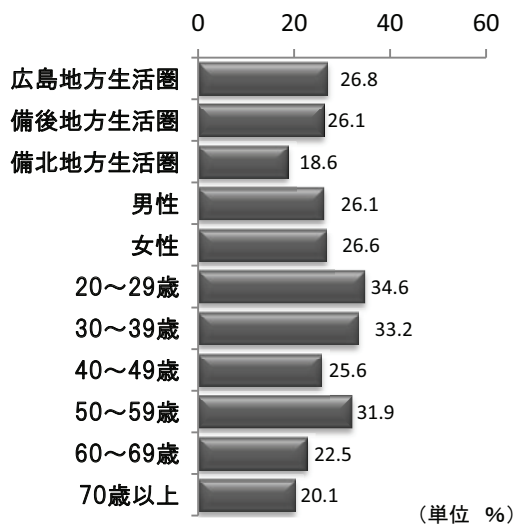
学校や地域住民が行う森林の下草刈り体験や森の観察会など体験活動への支援



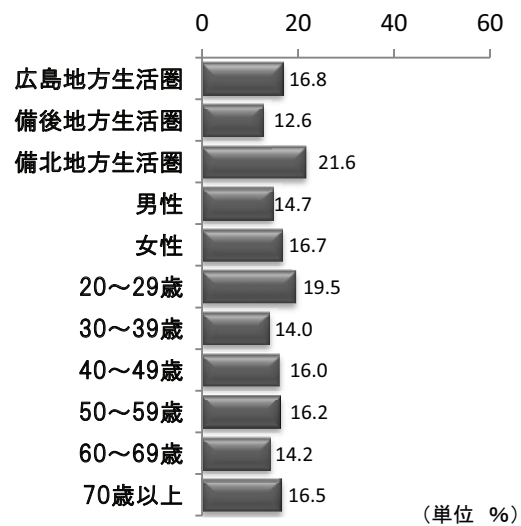
森林ボランティア活動への支援



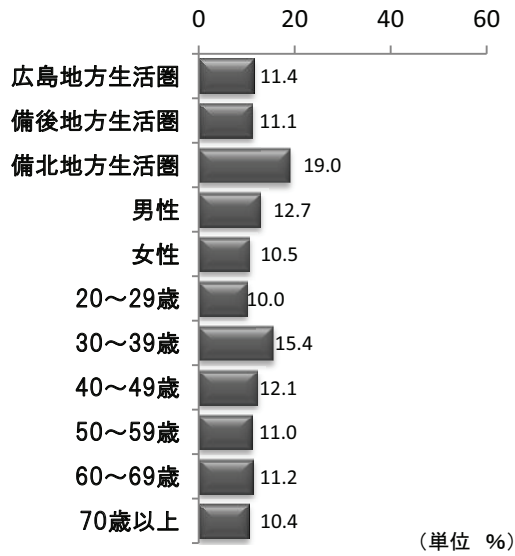
街に樹木を植えるなど環境緑化への支援



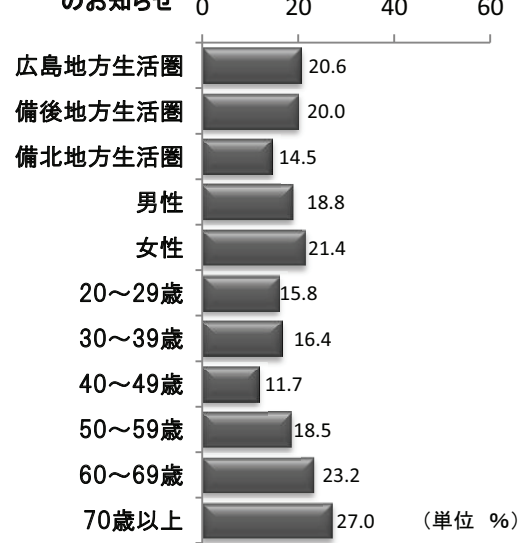
公共施設や学校施設への県産木材の利用促進



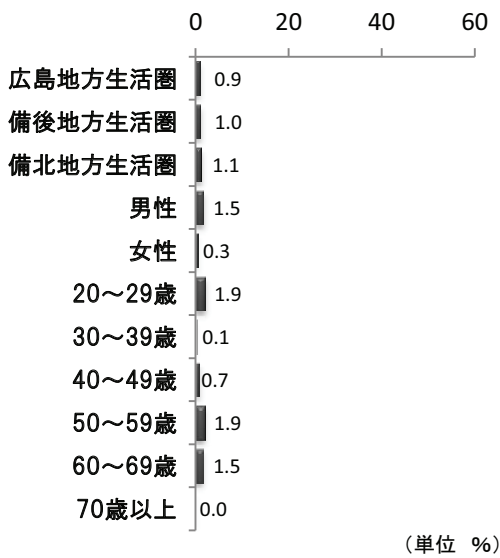
個人住宅に対する県産材使用の支援



森林の大切さや森林整備の必要性など  
のお知らせ



その他



特になし、わからない

